

令和3年度第1回区政会議(7.27)における主なご意見と区の対応について

番号	区政会議委員からのご意見	区の対応方針
①	シェアサイクルを活用して区内を周遊してもらえる仕組みづくりが必要だと思うので検討してほしい。	事業者からもマップを含め地域を勉強しながらつくっていくとの提案もあった。区としても区広報紙や区ホームページを活用し誘導をしていくこともできるため、事業者と共同で取り組んでいきたい。
②	シェアサイクルによって自転車事故が多発するという懸念があるが、どうなのか。	啓発も含めての自転車利用促進だと思っている。アプリ立ち上げ時に啓発画面を表示するなどの提案も事業者からある。区としても区広報紙で啓発をしていきたいと考えている。
③	今の若いお母さんたちは、相談員に直接相談する前にインターネットで調べ、解決しようとする。それをうまく活用し、区役所としてこれまで受けた相談に対してどのように解決したのかという事例をインターネットで情報提供することにより、相談員への相談につながると思うので、そのような仕組みづくりをしてほしい。	SNSやホームページを通じて相談窓口の周知を図り、相談員への相談につながる取組みをすすめていきたいと考えている。
④	ハザードマップを見ると水害時避難ビルは近鉄南大阪線より東の方が少ない。もう少し民間マンションなどに大阪市から避難ビル拡充への協力依頼をすることはできないのか。	区としても避難ビル拡充への協力依頼は行っているが、オートロックやマンションの形状等にもより、民間マンションの協力は進んでいるとは言えない。今後も水害時避難ビル拡充に協力してもらえるよう取組を進めていく。
⑤	シェアサイクルのアプリと連携させ、防災情報や近所の商店の情報を掲載することによって若い人も関心を持つのではないか。	シェアサイクルのアプリ上での情報発信は技術的には可能なので、今後、事業の進展に伴い、区政情報や交通安全の啓発等にも活用できるよう検討する。
⑥	災害時の情報発信は防災アプリやケーブルテレビ、防災無線、広報車などさまざまな方法で発信してほしい。	大阪市では災害時における的確で迅速な避難を支援し、避難に関する防災知識の普及を図るため「大阪市防災アプリ」を提供しています。それ以外にも「NHKニュース・防災アプリ」など、さまざまな防災アプリから災害情報が発信されています。また、テレビの「NHKデータ放送」など、リモコンのd(データ放送)ボタンを押すと防災情報や気象情報などを確認することができます。災害時には防災無線や青色防犯パトロールカーでの広報も行いますが、音声での周知には限界もありますので、防災アプリやテレビのデータ放送なども活用していただくよう取組を進めていく。
⑦	東住吉区に住みたいと思ってもらえるような魅力のある、特色あるまちづくりをしてほしい。	東住吉区に住みたいと思えるような区に育っていくようにまちづくりに取り組んでいきたい。